

**6**

中学校三年生の鈴木さんたちは、グループごとに職業について調べています。鈴木さんたちのグループは、「盲導犬の訓練士」について本で調べたあと、実際に訓練士さんのところへインタビューに行くことになりました。インタビューの目的は、盲導犬の訓練士という仕事について知ることです。あとの問いに答えなさい。

一 次の1から4は、鈴木さんたちが考えた質問項目の一部です。この中には、今回のインタビューの目的を考えたとき、質問しなくてもよいものが含まれています。それはどれですか。1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 どのようにすれば訓練士になれるか。
- 2 訓練士に必要な心構えには何があるか。
- 3 訓練士の仕事の内容はどのようなものか。
- 4 訓練士以外でなりたかった職業はあるか。

二 次は、実際に鈴木さんたちが行ったインタビューの一部です。このインタビューには、改善すべきところがあります。それはどのようなところですか。あとの1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

鈴木さん 訓練士の仕事は、楽しいですか。

訓練士さん はい、とても楽しいですよ。

鈴木さん 訓練士をやめたいと思っただことはありますか。

訓練士さん いいえ、一度もありません。

鈴木さん 盲導犬を育てるために、どのようなことを心がけていますか。

訓練士さん そうですね。いつも心がけているのは、盲導犬に対して愛情を注ぐことです。

鈴木さん 盲導犬として活躍している犬の種類としては、レトリバーが多いと本に書いてあったのですが、それは本当ですか。

訓練士さん はい、本当です。現在日本にいる盲導犬の多くは、レトリバーです。

- 1 言葉づかいが乱暴で、相手に対する思いやりがまったく感じられないところ。
- 2 聞かなければならない内容とは関係のない質問ばかりしているところ。
- 3 一問一答のやりとりが繰り返されて、話の内容に深まりがないところ。
- 4 自分の思い込みで、相手が答えにくいような質問を繰り返しているところ。